




AKAI
PROFESSIONAL

MPX16

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://akai-pro.jp/>

AKAI
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

inMusic Japan 株式会社

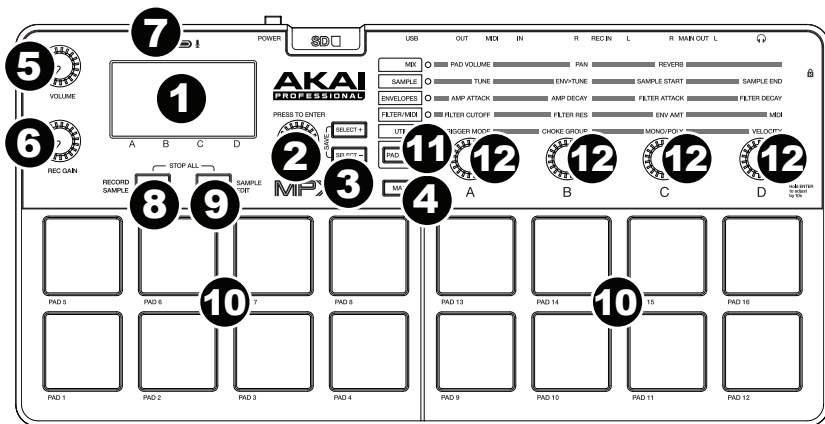
カスタマーサポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

akai-pro.jp/support/

トップパネル



1. **ディスプレイ**：MPX16の現在のパラメータやその他の情報を表示します。
2. **バリュー・タイタル**：このノブで、ディスプレイで選択されているパラメータを変更します。ノブを押しながら回すことで、パラメータを10ずつ飛ばして設定できます。
3. **SELECT +/- ボタン**：ディスプレイに表示されている任意のパラメータに移動します。二つのボタンを同時に押すとセーブ・モード (Save Kit) に入ります。詳しくは、後述の「**操作 > キットの保存**」をご参照ください。
4. **MAIN ボタン**：このボタンを押すことで、メイン画面に戻ります。このボタンを押しながらコンピュータとUSBケーブルで接続すると、**SDカードリーダー・モード**になり、MPX16に挿入しているSDカードにコンピュータからアクセス可能になります。詳しくは、後述の「**操作 > SDカードリーダー・モード**」をご参照ください。
5. **VOLUME ノブ**：メイン出力とヘッドフォン出力の音量を調整します。
6. **REC GAIN ノブ**：このノブで、REC IN 端子および内蔵マイクの入力レベルを調整します。
7. **内蔵マイク**：サンプリング用の内蔵マイクです。REC GAIN で入力レベルを調整します。REC IN 端子にケーブルを接続すると、内蔵マイクは自動的にオフになります。
8. **RECORD SAMPLE ボタン**：このボタンを押すことで、サンプリング・モードに入ります。詳しくは、後述の「**操作 > サンプリング**」をご参照ください。また、SAMPLE EDIT ボタンと同時に押すことで、現在再生している音声サンプルをすべて強制的に停止します。
9. **SAMPLE EDIT ボタン**：このボタンを押すことで、サンプル・エディット・モードに入ります。詳しくは、後述の「**操作 > サンプルの編集**」をご参照ください。
10. **パッド**：挿入されているSDカード (別売) 内の音声サンプルデータをトリガして再生します。パッドは、ベロシティ及びプレッシャー対応で、直感的な操作が可能です。詳しくは、後述の「**操作 > パッドの編集**」をご参照ください。
パッドのバックライトは、パッドの状態によって色が異なります。
 - **オフ (無色)**：パッドにサンプルがアサインされていません。
 - **オレンジ**：パッドにサンプルがアサインされています。
 - **グリーン**：パッドにアサインされたサンプルが現在再生されています。
 - **レッド**：現在編集されているパッドです。
11. **PAD EDIT ボタン**：このボタンを押すことで、パラメータ・ノブによるパッドの編集項目を切り替えます。詳しくは、後述の「**操作 > パッドの編集**」をご参照ください。
12. **パラメータ・ノブ**：これらのノブで、選択したパラメータを設定します。詳しくは、後述の「**操作 > パッドの編集**」をご参照ください。

リアパネル



1. **DC IN** : コンピュータと接続せずに MPX16 を動作させる際に、付属の AC アダプタをここに接続して電源供給を行います。
2. **POWER ボタン** : このボタンを押すことで、MPX16 の電源のオン・オフを切り替えます。
3. **USB 端子** : USB ケーブルでコンピュータと接続します。その際、MPX16 は USB バスパワーで動作し、コンピュータと MIDI 信号のやり取りを行います。
4. **SD カード・スロット** : 音声サンプルデータを保存した標準的な SD カードをここに挿入します。対応する音声フォーマットなどについては、後述の「**操作 > サンプルの編集**」をご参照ください。
5. **REC IN 端子 (L/R)** : 標準的な 1/4" TRS ケーブルを使用して、外部のオーディオ・ソースと接続し、サンプリングを行います。入力レベルは REC GAIN ノブで調整します。モノラル・ソースを入力する場合は、L 側または R 側の片方の端子のみにケーブルを接続します。またこれらの端子にケーブルを接続することで、内蔵マイクはオフになります。
6. **MIDI IN 端子** : 標準的な 5 ピンの MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI デバイス (MIDI コントローラなど) と接続します。
7. **MIDI OUT 端子** : 標準的な 5 ピンの MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI デバイス (シンセサイザやドラムマシンなど) と接続します。
8. **MAIN OUT 端子** : 標準的な 1/4" TS フォンケーブルを使って、外部のスピーカやミキサに接続します。L 側の端子だけ接続すると、モノラル出力になります。VOLUME ノブで音量を調整します。
9. **ヘッドホン端子** : ヘッドフォンを接続する標準的なステレオ端子 (1/4") です。出力音量は VOLUME ノブで調整します。

操作

はじめに

MPX16 は、サンプル、パッドおよびそれらの設定を、キットとして保存します。ここでは、以下の操作について説明いたします。

ディスプレイの表示

キットの選択

サンプリング

サンプルの編集

パッドの編集

キットの保存

MPX16 を USB MIDI コントローラとして使用する

SD カードリーダー・モード

ディスプレイの表示

これは **MAIN** モードの画面です。ディスプレイの中の項目は SELECT +/- ボタンで移動し、パリュウ・タイヤルで値を変更します。

KIT : プリセットの番号を表示します。インターナルのキットには「i」が、ユーザキットには「e」の文字が数字の前に付加されます。ユーザキットは SD カードに保存されます。

KIT:i06	LOC: INT
003:808	HH 0
P01	EDIT: MIX
VOL	PAN REV ---
100	CTR 100 ---

LOC (サンプル・ロケーション) : サンプルのロケーションが表示されます。MPX16 のインターナルのライブラリか、または SD カード (別売) に含まれるサンプルか、サンプルの保存場所を表します。インターナルは「INT」、SD カードは「CARD」と表示されます。

サンプル・ネーム : 選択された音声サンプルの名前が表示されます。

P \circ O EDIT:現在選択しているパッドとパラメータ **MIX**、**SMPLE (SAMPLE)**、**ENVS (ENVELOPES)**、**FILT (FILTER/MIDI)**、**UTIL (UTILITY)** を表示します。パッドを押すことで編集するパッドを選択します。パラメータは PAD EDIT ボタンで選択します。

パラメータ：パラメータ・ノブで設定可能なパラメータを表示します。

キットの選択

キットには、各パッドのサンプル・ロケーション、名前またはナンバ、およびそれらのパラメータが保存されています。

キットを選択するには：

1. **SELECT +/-** ボタンで **KIT** のフィールドまでカーソルを移動します。
2. **バリュー・タイヤル**で目的のキットの番号を選択します。インターナルのキットには「i」が、ユーザキットには「e」の文字が数字の前に付加されます。
3. 目的のキットが表示され、数秒待つと自動的にキットがロードされます。

サンプリング

サンプリング・モードでは、**REC IN** 端子または**内蔵マイク**からの音声をサンプリングして挿入している SD カードに **WAV** ファイルとして保存します。

重要：SD カードが挿入されていないとサンプリング・モードには入りません。

サンプリング・モードに入るには、**RECORD SAMPLE** ボタンを押します。

これは**サンプリング・モード**の画面です。**SELECT +/-** ボタンでカーソルを移動し、**バリュー・タイヤル**で値を変更します。

- **Mon (モニター)**：REC IN 端子および内蔵マイクからの音声を、**MAIN OUT** 端子および**ヘッドフォン**端子 (On)でモニターするかどうかを設定します。
- **Source**：モノラルでサンプリングするか、ステレオでサンプリングするかを設定します。モノラルの場合、接続されている入力端子によって **MONO L**または **MONO R**を選択します。内蔵マイクからのサンプリングは、ステレオのみとなります。
- **Thresh (Threshold)**：どのくらいの入力レベルでサンプリングをスタートするか設定します (**Off**/-60dB~00dB)。Off の場合、**バリュー・タイヤル**を押すと直ちにサンプリングが始まります。

上記設定後、**サンプリングを開始するには**：

1. **バリュー・タイヤル**を押します。
Threshold が設定されている場合、入力信号がそのレベルを超えるとサンプリングが始まります。または、もう一度**バリュー・タイヤル**を押すと直ちにサンプリングが始まります。
Threshold が **Off** の場合は、すぐにサンプリングが始まります。
2. サンプリングを止めるには、**バリュー・タイヤル**をもう一度押します。サンプルを保存する場合は、**バリュー・タイヤル**で任意の名前に変更し、もう一度**バリュー・タイヤル**を押します。
このサンプルを破棄して、もう一度やり直すには、**RECORD SAMPLE** ボタンを押します。
3. 名前をつけて**バリュー・タイヤル**を押した後、どのパッドにアサインするかを訊ねられます。任意のパッドを押して設定し、もう一度**バリュー・タイヤル**を押すと、サンプルは保存され、パッドにアサインされます。

```
Record Sample
Mon:Off
Source:MONO L
Tresh:-10 dB
Press Enter> ARM
0000000000 | 0
```

```
Armed...
Mon:Off
Source:MONO L
Tresh:-10 dB
Enter> Start!
0000000000 | 0
```

```
Recording...
Mon:Off
Source:MONO L
Tresh:-10 dB
Enter> Stop
0000000000 | 0
```

```
Name Sample...
[S]AMP_001
Press Enter>Keep
Press REC >Redo
```

サンプルの編集

サンプル・エディット・モードでは、SD カード内のサンプルの編集を行います。

重要：SD カードが挿入されていないとサンプル・エディット・モードには入りません。

サンプル・エディット・モードに入るには、**SAMPLE EDIT** ボタンを押します。パリュウ・ダイヤルで Sample フィールドにあるサンプルを選択します。

違うパッド（サンプル）を選択するには、**SAMPLE EDIT** ボタンを押してサンプル・エディット・モードを一旦抜けて、選び直します。

これはサンプル・エディット・モードの画面です。**SELECT +/-** ボタンでカーソルを移動し、パリュウ・ダイヤルで値を変更します。

Sample: **SAMP_001**

Normalize

ST:000,000,000
END:000,567,118
Execute?>No

- **Sample Name** : SD カード内の選択されているサンプル名が表示されます。
- **Edit Process** : 現在選択されているプロセスが表示されます。
 - **Normalize (ノーマライズ)** : サンプルのピークが **0dB** になるように、サンプル全体の音量を引き上げます。
 - **Reverse (リバース)** : サンプルを逆再生します。
 - **Copy to New (コピー)** : 現在選択されているサンプルをコピーして、新しいファイルを作成します。名前の最後の番号が更新されます。
 - **Rename (リネーム)** : サンプルの名前を変更します。既に SD カードに存在するサンプルと同じ名前を設定しようとすると、再度リネームするか、そのまま上書き保存するかを尋ねられます。
 - **Delete (消去)** : SD カードから選択したサンプルを消去します。実行すると、再度消去するかどうかを尋ねられます。
 - **Fade In (フェードイン)** : スタートポイントからエンドポイントに向かって、**-∞ dB** から最大レベルまで、ログカーブでフェードインしていきます。
 - **Fade Out (フェードアウト)** : スタートポイントからエンドポイントに向かって、最大レベルから **-∞ dB** まで、ログカーブでフェードアウトしていきます。
 - **Extract to New (抽出)** : 設定したスタートポイントとエンドポイント内の波形を抽出して、新しいファイルを作成します。名前の最後の番号が更新されます。
 - **Discard (破棄)** : 設定したスタートポイントとエンドポイント内の波形を破棄します。スタートポイントより前の波形とエンドポイントより後の波形が繋がります。
 - **Stereo > Mono (モノラル化)** : ステレオのサンプルを、モノラル化します。「Source :」の項目で **Left** にすれば左チャンネルのみを使ってモノラル化し、**Right** では右チャンネルのみを使用します。**Sum** は、左右のチャンネルを合算してモノラル化します。
- **ST (スタートポイント)** : サンプルの発音が開始されるポイントを設定します。
- **END (エンドポイント)** : サンプルの発音される最後のポイントを設定します。
- **Execute (実行)** : プロセスを実行する際に、**SELECT +/-** ボタンでカーソルを移動し、パリュウ・ダイヤルで **Yes** に変更してから、パリュウ・ダイヤルを押します。プロセスによっては、実行を再度確認するメッセージが表示されます。

ファイル・フォーマットについて

SD カードにオリジナルのサンプルをコピーして、MPX16 で再生する際、以下の点にご注意ください。

- サンプルファイルの対応フォーマットは「16bit、モノラル/ステレオ、WAV フォーマット」です。サンプリングレートは、48kHz、44.1kHz、32kHz、22.05kHz、11.205kHz に対応しています。
- サンプルは、フォルダなどに入れず、必ずルート（メイン）ディレクトリに保存してください。
- 32GB までの SD/SDHC カードに対応しています。
- SD カードをフォーマットする時は FAT32 ファイル・システムでフォーマットします。ファイル・ネームは次のルールで設定ください。
 - " * / \ : < > ? | などの記号は使用できません。
 - スペースは使用できません。
 - ファイル名は半角英数字で 8 文字（拡張子「.wav」は含まず）で設定してください。
 - ルート（メイン）ディレクトリに保存するサンプルファイルは、最大 512 個までにしてください。
- MPX16 に一度にロードできるサンプルファイルの総容量は 48MB までです。また、個々のサンプルファイルの容量は、MPX16 にアサインされる時点で 1MB 未満の数値は切り上げられます（実容量 2.1MB のサンプルファイルのアサインした場合は、3MB のサンプルファイルとして扱われます）。

パッドの編集

パッドのパラメータを編集するには、PAD EDIT ボタンを目的のパラメータ・ファミリが表示されるまで何度か押し、その後、パラメータ・ノブで値を変更します。

パラメータファミリ	パラメータ	説明	レンジ / オプション
MIX	A : VOL (Volume)	パッドの最大出力音量	000 - 100
	B : PAN	パッドのサンプルのステレオ定位	Ctr (Center)、L50 - R50
	C : REV (Reverb)	パッドのリバース適用量 (100 で Wet 音と Dry 音が同等になります)	000 - 100

Sample	A : TUN (Tuning)	パッドのピッチ	-12 > +12 (半音階)
	B : E > T (Envelope > Tuning)	フィルタ・エンベロープの効果をパッドのピッチに適用します (100 で、エンベロープはサンプルのピッチに 12 半音加算されます)。	000 - 100
	C : ST. (Sample Start)	パッド上のサンプルのスタートポイントのオフセットです。高い値で、スタートポイントは遅くなります。オリジナルのサンプルファイルや、違うパッドにアサインされている同じサンプルには適用されません。	000 - 999
	D : END (Sample End)	パッド上のサンプルのエンドポイントのオフセットです。高い値で、エンドポイントは早くなります。オリジナルのサンプルファイルや、違うパッドにアサインされている同じサンプルには適用されません。	000 - 999

パラメータ ファミリ	パラメータ	説明	レンジ/ オプション
Envelopes	A : A.A (Amplitude Attack)	パッドのアンプ・エンベロープのアタックの設定です。トリガ・モードの設定にも関係します(後述の Utility パラメータを参照ください)。	000 - 999
	B : A.D (Amplitude Decay)	パッドのアンプ・エンベロープのディケイの設定です。トリガ・モードの設定にも関係します(後述の Utility パラメータを参照ください)。	Off、000 - 999
	C : F.A (Filter Attack)	パッドのフィルタ・エンベロープのアタックの設定です。トリガ・モードの設定にも関係します(後述の Utility パラメータを参照ください)。	000 - 100
	D : F.D (Filter Delay)	パッドのフィルタ・エンベロープのディケイの設定です。トリガ・モードの設定にも関係します(後述の Utility パラメータを参照ください)。	Off、000 - 999
Filter/MIDI	A : CUT (Cutoff)	4-pole ローパスフィルタのカットオフの設定です。	000 - 100
	B : RES (Resonance)	4-pole ローパスフィルタのレゾナンスの設定です。	000 - 100
	C : E > F (Envelope > Filter)	フィルタ・エンベロープの効果をパッドのフィルタ・カットオフに適用します(100で、エンベロープ・レベルはカットオフ値に加算されません)。	000 - 100
	D : MID (MIDI Note)	パッドの MIDI ノート番号を設定します。	000 - 127
Utility	A : TRG (Triggger Mode)	パッドを叩いて音声サンプルをトリガした際の動作を設定します。フィルタ・エンベロープおよびアンプ・エンベロープにも適用されます。 ONE SHOT : パッドを一度叩くと、音声サンプルは最後まで再生されます。 LOOP : パッドを一度叩くと音声サンプルの再生が始まり、次にパッドを叩くまで繰り返し再生されます。 HOLD : パッドを叩いてそのまま押さえたままにすると、押さえている間、音声サンプルは繰り返し再生されます。パッドから指を離すと再生は止まります。	1SH(OneShot)、 LP (Loop)、 HLd (Hold)
	B : C.G (Choke Group)	パッドのミュート・グループを設定します。同じグループのパッドを叩くと、他の同じグループの音はすべてミュートされます。	01 - 16
	C : M/P (Mono/Poly)	パッドを複数回叩いた際の、サンプルの同時発音の設定を行います。 Mono : サンプル再生中に同じパッドを叩くと、その前に再生していたサンプルは停止し、新しくサンプルが再生されます。 Poly : サンプル再生中に同じパッドを叩くと、その前に再生していたサンプルと重なって、新しいサンプルが再生されます。	Mon (Mono)、 Pol (Poly)
	D : VEL (Velocity)	パッドを叩く強さに反応するかどうかの設定を行います。 On : 叩く強さに反応し、サンプルの再生音に Off : 叩く強さにかかわらず、サンプルは最大音量で再生されます。	On、Off

キットの保存

選択したキットを編集した場合、以下の手順で保存してください。保存の操作を行わない場合は、行った編集は破棄されます。

現在のキットを保存するには：

1. **SELECT +/-** ボタンを同時に押します。ディスプレイには、
2. **バリュー・タイヤル**を使って、**Overwrite** か **Copy** かを選びます。
Overwrite を選び**バリュー・タイヤル**を押すと、現在選ばれているキットに上書き保存されます。キャンセルするには、何か他のボタンを押します。
Copy を選んで**バリュー・タイヤル**を押すと、選択しているキットをコピーして、新しいユーザキットを作成します。キャンセルするには、何か他のボタンを押します。

ユーザキットのナンバは自動的に振られます（既に「e12」までユーザキットが存在する場合、新たにコピーしたユーザキットは自動的に「e13」になります）。

MPX16をUSB MIDIコントローラとして使用する

MPX16 を MIDI コントローラとして使用する場合、USB ケーブルを使ってコンピュータと接続して本体の電源を入れます。MPX16 のパッドは USB 経由でコンピュータに MIDI ノートメッセージを送信します（同じ情報が MIDI OUT 端子から同時に送信されます）。

SDカードリーダー・モード

MPX16 を SD カードリーダーとして使用するには、USB ケーブルを使ってコンピュータと接続して、**MAIN** ボタンを押しながら本体の電源を入れます。コンピュータは、MPX16 をカードリーダーとして MPX16 に挿入されている SD カードをマス・ストレージ・デバイスとして認識します（この際、MPX16 は通常の操作は行えなくなります）。

重要：SD カードに読ませるオーディオ・ファイルのフォーマットについては、「**操作 > サンプルの編集 > フォーマットについて**」をご参照ください。

付録

仕様

ディスプレイ：	バックライト、モノクロLCD、2.0" x 1.1"
パッド：	RGB バックライト、ベロシティ対応、16 基
ノブ：	360°回転エンコーダ 5 基、270°回転ノブ 2 基
入出力：	USB 端子 1 基、1/4" TRS 入力端子 2 基、1/4" TRS 出力端子 2 基、1/8" TRS ヘッドフォン端子 1 基、5 ピン MIDI 入力端子 1 基、5 ピン MIDI 出力端子 1 基
同時発音数：	計 64 ボイス
エンベロープ：	アタック - ディケイ・アンプ&フィルタエンベロープ、フィルタ・エンベロープ > チューニング
フィルタ：	4-pole ローパスフィルタ、パッドごとのレゾナンス
エフェクト：	リバーブ
サンプル・チューニング・レンジ：	±12 半音 (チューニング・パラメータ)、フィルタ・エンベロープ > チューニングによる 12 半音加算
サンプル・ファイル・フォーマット：	Wav ファイル (モノラル / ステレオ、録再生とも)
電源：	AC アダプタ (付属) : 5.8V DC、860mA、センタ+、および USB バスパワー
サイズ (W x D x H)：	約 295 x 147 x 30 mm
重量：	約 0.68kg

商標およびライセンス

AKAI professional は、InMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

SD および SDHC は、米国またはその他の国で SD-3C, LLC の商標または登録商標です。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。